

(別添5)

福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人未来

②施設・事業所情報

名称：認可保育所 浜坂江津クローバー保育園	種別：保育所
代表者氏名：山城 伸一 園長 氏名：大久保貴世	定員（利用人数）60名（48名）
所在地：鳥取県鳥取市江津1258番地	
TEL：0857-30-7222	ホームページ： http://clover-hoikuen.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成30年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 5名
専門職員	保育士： 10名 保育士： 1名
	支援員： 3名 事務員： 1名
	栄養士： 1名 調理員： 3名
施設・設備の概要	（居室数）8室 （設備等）空調
	保育室、ほふく室、調理室、 事務室

③理念・基本方針

理念：・好きなことをもっと好きになれるよう、自分らしさを大切にのびのびと生活する。
保育指針：・四季を感じながらいろいろなことを体験していきます。
・好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にしていきます。
・いろいろな人とかかわる中で心の育ちを大切にします。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・子ども主体の保育計画を実施する。
- ・子どもたち一人ひとりの「すき」を見つけて伸ばす保育
- ・肯定的な言葉かけの実践
- ・働きやすい職場づくり

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月 日（契約日） ～ 令和3年 3月 12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（令和元 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ①平成28年の会社設立時より現時点で、県内外に14園を運営し、幅広く保育事業を展開し、地域に貢献している。
- ②クローバーグループの栄養士が卵・小麦粉を抜いた「除去食」で献立を作成し、旬の食材や地元の食材を使用して自園調理で提供している。
- ③グループ内に園バス（米子より運転手付き）を導入したことで、バスでの外出が可能になり、買い物学習や運動会（地域の体育館での練習と当日）等、幅の広がった保育が可能になった。
- ④園バスに乗り近くのスーパーへ買い物に出かけ、発泡スチロールで育てた稲・玉ねぎ・さつまいもを使い、カレーライスをみんなで作って食べ、家族との話題も広がった。またポップコーンや、ピザ作りにも挑戦し、食育の分野で楽しみながら、心豊かに学ぶことができている。
- ⑤コロナ禍の今年は、行事を年齢別に取り組んだ。生活発表会をクラス単位での参加に切り替え、スライドで日頃の様子を見てもらい、わが子の発表をみて帰るという形式で行なった。合間の時間には徹底した消毒をした。
- ⑥園庭は決して広くなく、遊戯室もないが、地域の公園への散策や、廊下や部屋の工夫しながら、子ども主体の保育活動を展開している。
- ⑦計画的に第三者評価を受審し、全職員との情報共有に取り組んでいる。当保育園は、3年連続で3回目の受審である
- ⑧労務管理について、外部コンサルティングの評価を受け、課題解消に向け取り組んでいる。

◇期待できる点

- ①職員一人ひとりの能力を発揮するための労働環境、相談しやすい環境、バランスのとれた配置ができるように人事制度を含めた改善策に取り組んでいる。
- ②今年度、社外監査役（会計士）の選任、外部の監査法人との契約の締結、事業・内部統制・財務等の整備をし、事業の透明化を図っている。
- ③グループウェア（サイボウズ）の導入により、全園と本部を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し業務の効率化を進めている。

◇改善を求められる点

- ①事業計画の職員への周知及び理解の促進に努め、さらに保護者への発信を進めていくよう期待する。
- ②会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入している。人事考課や目標管理等への活用がスムーズに実用化することを期待する。
- ③園全体でマニュアル等の見直しをしてはどうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の評価を受け、今後必要とされる園の課題が明確になった。
マニュアル不足部分の追加作成や職員への周知方法、また会社や園として保護者さんへの報告義務等のあり方への改善が必要である。
また、新型コロナウイルス感染症予防対策で本年度実施に至らなかったと地域との連携行事等を来年度は内容を検討しつつ進めていきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> ホームページや入園のしおりに理念・基本方針を示し、また園の玄関の目に触れるところに掲示し、周知を図っている。保護者に対して、園の行事や保護者アンケートなどその都度園の方針をわかりやすく説明している。職員に対しては、職員研修、ミーティング等で理念や基本方針の共有、それに基づく実践状況を確認し、継続的な取り組みを行っている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 国や県、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料を収集し、動向把握に努めているが十分とは言えない。会社役員を中心に経営会議をし、課題を抽出する機会を作っている。役員による定期的な職員面談等により現場の環境把握に務めており、月1回以上の経営会議や取締役会で課題を把握し、分析する機会を作っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 財務会計と内部統制については、今年度外部の監査法人と監査契約を締結し、組織全体の強化に努めている。外部の会計事務所の協力を得て、内部統制関係の整備をした。職員の周知までには至っていない。外部コンサルティングの評価を受け、労務管理上の課題解消に向け取り組んでいる。グループウェア(サイボウズ)導入により、全園と本社を繋ぐ情報共有環境を整備した。また、クラウド型電子契約システムを導入し、業務の効率化に努めている。職員への周知が課題である。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c

<p><コメント> 経営計画についての中・長期経営計画及び収支計画を策定し、取締役会等により評価するよう努めている。理念や基本方針の実現に向けての中・長期計画は十分とは言えない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント> 単年度の事業計画は、新規開設や人材確保、人員配置、園児受け入れ等計画を策定し、毎月の取締役会、経営会議で情報共有している。数値目標や事業の成果を設定するなど、具体的に検討してはどうか。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント> 全体の保育計画、月案、週案、個別経過記録などでその都度保育理念や保育目標に基づく評価、反省を行なっているが、事業計画は職員等の参画や、意見の集約・繁栄が十分に行われていない。計画を具体的に職員が周知・理解できるよう取り組みの工夫を期待する。また、事業計画の実施状況が手順に基づいて具体的に評価・見直しできるよう努めてほしい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント> ホームページ上には事業計画は示されていない。保護者には年間行事に関する文書を配布している。保護者の参加を促す観点から事業計画についてのさらなる周知・説明の工夫を期待する。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント> 内部評価については、法人による職員個人面談・各園ミーティング・園長会・月例別研修等の定期開催により、意見交換や情報共有を図り、質の向上に努めている。 会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に活用していく計画がある。 開園時より、毎年第三者評価を受審して3回目である。全職員で評価に基づく振り返りや情報共有に努めてほしい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント> ミーティングや園内研修等で、定期的に課題解決に向けて見直しを行う体制を構築している。より良い状況にしていくため、建設的な意見が出る場ができるよう今後も継続してほしい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		

10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 園だより、ホームページ、重要事項説明書等で、園長の役割と責任を伝えて、職員にも周知している。課題に応じて、役割を果たすことに努めている。園長不在時の権限委譲も文書化してほしい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> グループの園長会等を通して、管理者としての心得や法令遵守の観点での保育に取り組み、職員に周知している。福祉分野だけでなく、雇用、労働、防災、環境等の分野の理解を深める取り組みも行ってほしい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p><コメント> 園長は、定期的に保育日誌や月案の評価、分析を行ったりして、保育の質を向上するために、子どもの関わり方について話し合っている。職員の意見を反映するために、より具体的な指導をしてほしい。新入職員が3名入り、エルダー制を導入した。これからの期待したい。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p><コメント> 人事、労務、財務等は本部が一括して業務を担当している。今年は事務員、支援員（保育士資格のない補助）を配置し、保育士の保育時間が軽減された。本部と連携して、継続的な安定した良質の保育が実施できるよう取り組んでほしい。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント> 今年3名の新入職員がいる。計画的な人材確保をするために本部との連携を期待する。法人で女子サッカークラブを運営しており、当該部及び保育系学科のある大学にも直接アプローチをし、子育て支援員も含め、人材確保に努めている。補助金を活用して、保育士等の資格取得支援を実施している。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント> 職員面談により意向・意見の吸い上げ等実施しているが、明文化された基準や体系的な評価制度の確立については不十分である。法人全体で職員数が増大しており、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に着手しているところである。職員が将来の姿を描くことができるような仕組み作りを期待する。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント> 有給休暇の取得状況は本部が管理をし、出勤簿や休暇簿の点検等、職員の健康管理に配慮したシ</p>		

フト作成を園長と本部が連携し、把握に努めている。日ごろから職員が相談しやすいよう工夫し、心身の健康や福利厚生についての意向の把握に努め、さらに働きやすい職場づくりに取り組んでほしい。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>定期的に個人面談を実施し、職員の理解度や保育の質の向上に取り組んでいる。法人の期待する職員像を目指し、職員一人ひとりの目標を設定し、達成度の確認ができるような体制が整うことを期待する。新任職員の育成に努めてほしい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>自治体等外部が主催する研修に参加している。法人内においては、職種別、担当クラス別等に分類し、会議による意見交換や研修を実施している。職員教育・研修に関し、具体的な目標や体系的な計画等、さらに明確な保育所の基本姿勢が期待される。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>・職員の経験年数、クラスの子どもの姿等を配慮し、本人の希望を確認した上で研修計画を組んでいる。研修後は報告書を提出し、園内の伝達研修で共有している。今後は体系的な計画を策定するための評価基準を明文化していくよう検討中である。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れをマニュアルとして文書化しているが、不十分である。単に取得のみを目的とせず、実際の保育を体感する等、保育園グループの理念を共有できるよう努めている。今後、より体系的に学べるようなプログラムを工夫してほしい。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園見学や公開保育等を積極的に実施している。SNS等も活用して、幅広く触れる機会の創出に努めている。今年、ホームページをリニューアルした。今後情報公開を行っていく計画があり、事業計画、苦情相談、第三者評価結果、財務報告等公表内容を広げてほしい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>事務、経理、取引等において、本部と各園で棲み分けをしている。小口現金は各園で行い、消耗品、備品等小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア（サイボーズ）上で稟議をかけるなど、承認経路をスリム化し処理の迅速化を図っている。社外監査役（会計士）を選任し、また外部監査法人と契約を締結し、事業、内部統制、財務等を整備し、内部監査室を設置した。運営状況についての職員の周知を望む。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 今年度より月週案に「地域との連携」欄を設け、自治体より提供される講演会やイベント等のちらしを保護者に配布している。老人施設やケーキ屋との交流をコロナ禍でも形を変えながら継続して実施している。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ b ・c
<p><コメント> 地域の人にボランティアに来てもらうよう年間計画に組んでいたが、コロナ禍で見合わせた。マニュアルはあるが、項目等の整備を望む。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ b ・c
<p><コメント> こども発達相談センターや療育園、児童相談所、保健所、地域の学校等関係機関・団体の機能や連絡方法を把握し、具体的な取り組みを行っている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・ c
<p><コメント> 部屋の広さや対応職員数の制限や、コロナ禍等の問題の為、地域に開放・提供する取り組みは行われていない。地域とのかかわりはまだ確立できていない。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント> 園内整備の際に周りの清掃を行ったり、交通安全指導日に江津クローバー保育園と朝夕に分かれて挨拶運動を実施した。地域の会合への参加、民生委員との顔合わせなどできることから取り組む予定にしている。近隣の保育園と情報交換をすることができた。今後、協力して地域へ貢献できる方法を検討している。</p>		

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	III-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 子どもを尊重した保育をするために、基本姿勢を理念や基本方針に明示し、定期的に機会を設けて研修し確認している。保護者への啓発や理解につなげていけるよう運営規約や重要事項、入園のしおりに多国籍文化、ジェンダー等の人権について明記していくことを検討している。</p>		
29	III-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・ c
<p><コメント> 子どもの虐待防止に関してのマニュアルはあるが、プライバシー保護や権利擁護に対してのマニ</p>		

<p>マニュアルが整備されていない。プライバシー保護と権利擁護に関する取り組みや、不適切な事案が生じた場合の対処方法を明確にできるマニュアル作成を望む。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ b ・c
<p><コメント> 利用希望者が見学する際は、保育内容が説明してあるパンフレットを渡し、わかりやすい言葉で必要な情報を伝えている。ホームページ等で園の行事を公開するなど、情報を入手できるようにしている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
<p><コメント> 入園のしおりや健康のしおり等を使ったり、個別に面談して説明し、保護者の同意を得ている。個別に配慮が必要な時には、丁寧な聞き取りや説明を行い、疑問や不安の軽減に努めている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 変更があった場合保護者の了解を得て、必要に応じて情報提供するなど対応し、福祉サービスの継続に努めている。口頭だけでなく、移行時に伴う引き継ぎや申し送りの手順、文章の内容等を定めておいてはどうか。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 年に2回保護者アンケートを実施し、書面で結果を配布している。また、年に2回の個人懇談だけでなく、必要時には個別に懇談の時間を設け理解と支援に努めている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ b ・c
<p><コメント> 相談、苦情受付の窓口を重要事項説明書に明記し、保護者に説明している。連絡ノートのやりとりや送迎時など、普段のコミュニケーションを大事にしている。第三者委員を設けている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ b ・c
<p><コメント> 意見を出しやすいように玄関に意見箱が設置されており、意見が入ることもある。保護者アンケートや行事毎のアンケート等で意見を出していく機会が設けられている。年度初めには、各家庭に意見書を配布し意見を出しやすい工夫がされている。相談時にはカーテンを閉めたりパーテーションを使用するなど、相談しやすい環境づくりに配慮している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント> 保護者アンケートや意見箱に合った苦情等は、苦情処理報告書に記録し、本社や園長へ相談、対応している。職員で話し合い、環境改善や職員配置など迅速に行うことで信頼回復と職員の意識向上に努めている。実行的なマニュアルの早急な整備を望む。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c

<p><コメント> 職員に対し、安全確保、事故防止に関する研修を行っている。日々の保育で出たヒヤリハットや事故はすぐに記入し、対策が取られている。リスク検討委員会の設置も検討しているが、まだ実施されていない。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアルを作成し、職員に周知徹底している。コロナウイルスに関するマニュアルも整備してある。今年はコロナ禍で、例年以上に感染対策の見直しと環境設定、保護者対応、こまめな手洗い、消毒、換気などに取り組んでいる。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・(b)・c
<p><コメント> 年間計画を立て、火災、地震、不審者対応等の避難訓練を毎月行っている。コロナ禍の為、例年と違い消防署や警察署と合同にはできなかった。今後は、遅番の時間帯などの訓練や、保護者や職員と連絡をとるシミュレーションも行っていく予定にしている。地域との連携が取れるように期待する。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	(a)・b・c
<p><コメント> 保育マニュアルが整備され、標準的な実施方法が確立されている。福祉サービスについて、全体、年齢ごとの年計画、月案、週案の保育計画が文書化され、それに基づいた保育を実施している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a)・b・c
<p><コメント> 職員の話し合いや、保護者の意見や提案を検証し、必要な見直しをしている。日々の保育日誌や指導案を振り返り、計画案の見直し、修正を行っている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a・(b)・c
<p><コメント> 子どもと保護者の状況を正確に把握して、ニーズに合わせた指導計画を作成している。子ども一人ひとりの発達や状態に応じた計画を策定している。保護者や様々な専門機関と連携を密に取っている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・(b)・c
<p><コメント> 日々の保育、年間計画、月案、週案等で定期的に指導計画は評価、見直しが行われ継続的に保育の向上につなげている。変更があれば赤字で追記している。担当以外の職員への周知はされていない。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p>		

統一された形式で保育の実施状況の記録が適切に行われている。職員は、子ども全員の様子を把握しており保育に生かしている。

45

Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。

a・**⑥**・c

＜コメント

個人情報に記載してある資料等は、鍵付きの書庫に保管している。入園時に個人情報取り扱いについての同意を得ている。記録管理の責任者を置き、電子データの管理とともに、保存年数に合わせた管理と廃棄の徹底を望む。

福祉サービス第三者評価結果（浜坂 江津クローバー保育園） （内容評価基準—保育所版—）

※すべての評価項目（20項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を記入する。

A-1 保育内容

評価項目	第三者評価結果	判断理由
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・(b)・c 保育計画は、保育指針に沿って、理念、保育の方針や目標に基づいた指導計画の作成や、保育に心掛けている。保育に関わる職員が参画して作成してほしい。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・(b)・c 室内の環境は安全面・衛生面を考慮しているが湿度等に配慮してほしい。食事・睡眠の為に心地よい空間作りの見直しをしてほしい。
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・(b)・c 一人ひとりの子どもの思いや発達に寄り添った、肯定的な声掛けや関わりを大切にしながら保育に関わっている。指導計画等に援助内容を記録し、気持ちに寄り添いながら日々を過ごしている。
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・(b)・c 個々に合わせた目標を設定し、丁寧に関わっている。養護を中心とした保育（活動と休息のバランス）を見直し、環境整備を再度検討している。
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・(b)・c 子どもが主体的に活動が出来るように、遊び道具を手作りした。今年度は園バスが導入され、園外に出ることで、挨拶や公共のものを大切に使う等社会体験に幅が広がった。
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c 保育者を加配し、ゆったりと保育が行われている。一人ひとりの発達段階に合わせた保育計画を立て、遊びを工夫している。子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c 子どもの自我の育ちを支えられるよう、気持ちを尊重し適切なかわりに努めている。子どもの積極的な探索活動に繋がる様に、安全に配慮し、玩具の入れ替えをしたり、追加を考えている。
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c 集団遊びや当番活動・菜園活動等をポートフォリオにして、お知らせや啓発をしている。自発的に子ども達が遊びを創意工夫しながら楽しく過ごしたり、友達と一緒にやり遂げることを保育士が援助している。
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、関連機関と連携して情報共有を行っている。保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝える取り組みを模索している。
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c 保育時間や職員配置を考慮しなるべくゆったりと過ごすことが出来るように環境に配慮している。朝夕の保護者からの連絡事項は視診簿に記入して担任に伝達している。
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・(b)・c 昨年度は地域の小学校への就学児は無かったが、今年度は子どもと保護者・園・こども発達相談センターで学校見学を行った。支援クラス等の雰囲気を感じ就学申請に繋がった。来年度はアプローチカリキュラムを作成する予定にしている。

A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ b ・c	全年齢を対象に午睡時のSIDSチェックを実施している。子どもの健康管理に関するマニュアルに基づき健康状態を把握している。早目の保護者への連絡・報告・相談を行っている。
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a ・b・c	年間計画として、歯科・内科・検尿検査を実施している。保護者に書面結果や口頭で伝え、家庭での生活に活かされている。今年度は歯磨き指導を実施した。
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師から指示を受け適切な対応を行っている。	a ・b・c	「卵・小麦粉」のアレルギー対応の給食提供をしていることを、園見学時や入所前面談時に伝えている。入園時に診断書が提出された子どもに対しては、個々のアレルギーに対応した食事を提供している。調理室と保育サイドで複数回確認をし、誤提供防止に努めている。
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ b ・c	菜園活動やクッキングを通して食に対する興味を湧かせ、友達と食べることで苦手なものにも挑戦する姿が見られる。調理室の様子を写真で説明し、調理職員に感謝の気持ちを持たせた。今後も食への関心を持てるような工夫を継続してほしい。
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ b ・c	グループ内の栄養士が、季節や行事、かむ力、子ども達のリクエストを考慮した献立作成をしている。また子どもの体調に合わせたメニューに変更し、柔軟に対応している。定期的に食育会議を行い、連携を図っている。

A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・ b ・c	コロナ禍の為、行事や参観日・クラス懇談会が中止になり、時間指定の個別参観日を行い工夫をしている。日々、家庭の状況を保護者と情報交換し、連携を図っている。
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・ b ・c	保護者と会話する機会を多く持ち、信頼関係を築くよう取り組んでいる。相談内容等を記録し、職員間で共有して支援を行っている。
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ b ・c	虐待防止マニュアルに基づいた研修を実施し、対応に努めている。また、児童相談所やこども家庭相談センター、保健所と綿密に連携を取り、虐待防止や保護者支援にあたっている。

A-3 保育の質の向上

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・ b ・c	グループ内での保育見学や公開保育を実施し、他園の実践内容や環境づくりを学んでいる。自己評価で課題の気づきや自信につなげているが、一人ひとりの自己評価を園全体の評価に広げ、保育実践の向上に努めてほしい。